

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 五十嵐弓将・荒井大輔 幹事補佐 野村啓仁・大下裕一

日時 1月23日(木) 10:20~16:00

24日(金) 10:20~17:40

会場 名古屋国際センター(名古屋市中村区那古野1-47-11, 名古屋駅から東へ徒歩7分, <http://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/nicnews/aramashi/nicaccess>)

議題 ネットワークソフトウェア, コンテンツ配信/流通, ソーシャルネットワーク(SNS), データ分析・処理基盤, ビッグデータ及び一般

23日午前(第2研修室)

1. 電子白杖を用いた危険箇所検知による歩行支援方式 ○谷口敏基・新津善弘(芝浦工大)
2. ユーザの利用状況を考慮したコミュニケーションツール選択法 ○伊澤央貴・新津善弘(芝浦工大)
3. 通信ネットワークの信頼性評価の普及に向けた一検討 ○船越裕介・松川達哉(NTT)
4. 検索情報を用いた事前配信技術の提案
○上村昂平(上智大)・横田将裕・竹下 恵・西松 研・長谷川治久(NTT)

23日午後(第2研修室)

5. クラウドを用いたPeer-to-Peerネットワークにおけるコンテンツの有用性を考慮した情報共有手法
○富森将司(名工大)・菅原真司(千葉工大)・福島慶繁・石橋 豊(名工大)
6. パス解析によるTCP/IP階層モデルを考慮したWebユーザビリティ及び通信品質評価尺度の関係性の評価
○野村洋介・伊藤嘉浩(名工大)
7. 6to4環境下で通信品質の劣化がWebユーザビリティに及ぼす影響の評価 ○小屋敷 涼・伊藤嘉浩(名工大)
8. [招待講演] 人間行動の理解に向けたセンシング及び分析技術の紹介 安本慶一(奈良先端大)
9. [招待講演] マルチホップ無線ネットワークのスループット 若原 恭(東大)

24日午前(第2研修室)(10:20~12:00)

1. 遅延差のあるネットワークのための帯域予測を用いたMPTCPの改良 ○小松崎章弘・木村成伴(筑波大)
2. 複数エリアに分割したセンサネットワークにおける通信量冗長化のためのスリープスケジューリング方式
○中村真人・木村成伴(筑波大)
3. 常時接続回線を用いたMIPv6のための非常時接続回線間のハンドオーバー処理方式
○濃添太陽・木村成伴(筑波大)
4. 階層化MAPを用いたHMIPv6のためのハンドオーバー数に基づくMAP選択方式
○野上航平・木村成伴(筑波大)

(第1研修室)(10:20~12:00)

5. Proximity Communication上でのChronoSyncベースアプリケーションの災害時情報伝達性能の評価
○小河原健生・川原圭博・浅見 徹(東大)
6. Named Data Networking上でのID-based EncryptionによるID合意及び相互認証プロトコルの設計
○小河原健生・篠田詩織・川原圭博・浅見 徹(東大)
7. ツイッターにおけるデータ自動分類手法に関する研究 ○米川あかり・長岡健一(石川高専)
8. スマートメータを利用した使用機器の推定アルゴリズムの設計
○吉野太郎・和泉 諭・阿部 亨・菅沼拓夫(東北大)

24日午後(第2研修室)

9. WebクライアントにおけるTCP輻輳制御方式の違いがWebユーザビリティに及ぼす影響の評価
○他田朋也・伊藤嘉浩(名工大)
10. 立体音響IP電話サービスのための臨場感に関する評価 ○村上 涼・伊藤嘉浩(名工大)
11. MPTCPにおける輻輳制御がWebユーザビリティに及ぼす影響の評価 ○山内大介・伊藤嘉浩(名工大)
12. 無線LANにおけるNAV期間の制御による送信機会確保と公平性の改善方式
○速水竜之介・大坐畠 智・加藤聰彦(電通大)
13. An Evaluation of Node-Based Delays in Tor Network
○Kale Timothy Girry・Satoshi Ohzahata・Celimuge Wu・Toshihiko Kato(Univ. of Electro-Comm.)
14. BitTorrentにおける楽観的アンチョークを用いたトラフィックローカライズ方式

○江藤寿史・大坐畠 智・加藤聰彦（電通大）

15. 分散環境におけるデータベース仮想化技術の実行効率測定のためのシミュレータの開発

○狩野大地・佐藤裕幸・澤本 潤（岩手県立大）・和田雄次（東京電機大）

16. 人体通信と音声センサを用いた入退室管理システムの設計と実装 ○周 士翔・榎原博之・松崎頼人（関西大）

17. データ開示度制御における行動プライバシーリスク予測手法に関する一検討

○角田啓介・田中明通・田中智博（NTT）

18. End-to-End 遅延時間の増加率を利用した可用帯域推定方式

○石田裕貴・花田真樹（東京情報大）・金光永煥（早大）

◎23日16:15~18:15, 24日13:00~17:00にネットワークソフトウェア研究会（第二種研究会）が開催されます。
プログラムについては以下を御覧ください。

<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/3/announce/>

☆IN研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月 休会

3月6日（木）、7日（金）宮崎シーガイア〔1月10日（金）〕テーマ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

IN研究会幹事及び幹事補佐

E-mail : in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

五十嵐弓将（NTT）

TEL〔0422〕59-2873, FAX〔0422〕59-5671

野村啓仁（NTT）

TEL〔0422〕59-3946, FAX〔0422〕59-5671

◎IN研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できません。原稿の提出が締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。ただし、原稿未提出の場合、講演中止とする場合もあります。